

# 視察研修報告

平成28年4月13日(水)  
～15日(金)

## 視察概要

- 新ひだか町役場表敬訪問
- 川根茶のPR活動と緑茶の消費現状の把握
- 大井川鐵道株式会社 前田忍社長が再建した、静内エクリップスホテルにて川根茶の呈茶、淹れ方の指導
- ひだか町で川根茶の販売取り扱いをしている「よねや茶舗」を表敬訪問

平成28年4月13日(水)から4月15日(金)にかけて本町議会第2常任委員会により行われた北海道視察研修の報告をします。

### 研修参加者（委員

長・芹澤廣行、副委員長・根岸英一、委員・中田隆幸、太田侑孝、坂本政司、野口直次、議会議務局長・大村敏秋、計7名）

視察研修先は、北海

道日高郡新ひだか町（面積1147km<sup>2</sup>・人口2万3580人）役場、及び静内エクリップスホテル（昨年9月に大井川鐵道株式会社の社長に就任した前田忍氏が経営再建したホテル）です。

## ① 新ひだか町役場で

新ひだか町役場では、地域創生総合戦略の概要について研修しました。その後、酒井町長をはじめとした町幹部職員のみなさんに、川根茶の宣伝を兼ねて野口、坂本委員の指導により呈茶を実施しました。



新ひだか町長酒井氏へ川根茶を贈呈



新ひだか町役場での会議の様子



野口議員、坂本議員が呈茶を実施

## ② 静内エクリップスホテルで

翌朝、ホテルフロント前において、チェックアウトしたお客様に呈茶サービスを行い、川根茶を試飲した皆さんに感想をお聞きしました。

また、ホテル従業員、スタッフの皆さんを対象に川根茶の淹れ方（お湯の温度、時間等）の説明、実演を行いました。

合わせて、おしゃれなワインボトル型のフイルターインボトルでの呈茶も行い、ディナーなどの食事時、お酒の



静内エクリップスホテル



フロントでの呈茶サービス

# 川根本町第2常任委員会 北海道

③新ひだか町「ライディングヒルズ静内」で  
 ホテルでの呈茶終了後、町営施設「ライディングヒルズ静内」へ行きました。ここでは、新しい人の流れを作る馬力本願プロジェクト（仮称）基本構想の概略について説明を受けました。

若者の人口流出をくい止めるために、町民の77%が新ひだか町を馬の町と認知していることをもとに、馬力本願プロジェクトと名付けたとの説明がありました。プロジェクト事業の主たるものは、第1に子供達への文化伝承。第2に、おもてなし基盤の整備事業、第3に移住・定住・スポーツ関連の受け入れ、第4に新ひだか町自立型DMO（地域ぐるみの観光振興）設立方針の説明を受けました。



おいしい淹れ方を説明



おしゃれにワイングラスで



町営施設「ライディングヒルズ静内」



老舗「よねや茶舗」店内

その後、ライディングヒルズ施設内を案内してもらい、町民の乗馬体験、馬のファンの研修旅行受け入れ、欧米からの体験観光の受け入れ、障害者の乗馬体験や児童、学生の情操教育の実態を研修した後、新ひだか町内のアイヌ民族資料館の見学、町営の新ひだか町博物館、併設の図書館を訪ね職員より説明を受けました。

④老舗「よねや茶舗」訪問  
 視察目的の一つであるお茶販売調査として、キタハイ農協時代から川根茶の販売取り扱いをして頂いている老舗の専門店「よねや茶舗」を表敬訪問し、お茶の販売状況などについて話をうかがいました。

新ひだか町においても、お茶の需要は年々減少している状況です。第2常任委員会では川根茶を持ち寄り、エクサリプスホテルへ送って、ホテル内で呈茶サービスを実践、PRをしていただくなか、お客様の反応も良く、販売用のお茶の問い合わせがありました。今後もホテルでの呈茶を継続していただき、川根茶のPRをお願いしていきたいと思っております。



ホテルでの呈茶の様子

お客様のコメント：普段飲んでいるお茶より香りがよくとてもおいしい。